

NO.425

平成 25 年度
三田市人権ポスター出展作品

比べない
1人1人は
ちがうから

富士中学校 1年(前年度)
しおじり しょうた
塩尻 翔大さん

平成25年度
三田市人権標語入賞作品

人権さんだ



弥生小学校 1年(前年度)
みやむら りく
宮村 陸さん

人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。
問い合わせ＝まちづくり部人権推進課
(559-5081-5148 FAX 563-3611 e メールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp)

『ヒロシマからの手紙』 ～「平和を考える市民のつどい」から～

三田市では、戦争のない平和な世界を願い、さまざまな取り組みをしています。その一環として、8月3日(日)に「平和を考える市民のつどい」を開催しました。原爆被爆体験者である岡田恵美子さんにお話をうかがいました。

1945年8月6日

午前8時15分。私が8歳の時に爆心地から2.8キロ離れた自宅で被爆しました。ピカッと光って、気がついたら吹き飛ばされ、床に叩きつけられていました。母はガラスの破片を全身に浴び、血をたらたらと流していました。4歳年上のお姉ちゃんは、建物疎開に出たまま現在もまだ帰ってきていません。

原子爆弾が投下されて、7万人が即死。何百もの死体が転がっていました。逃げまどう人はみんな何も着ず、身体が膨れ上がり、髪の毛は逆立ち、顔は裂け、性別も分かりませんでした。私はどす黒いものを何度も戻して、苦しかったことしか思い出せません。

後遺症

被爆後、私は歯茎から血がじわじわ出て、髪の毛がバサツと抜け、けだるくて横になってることが多かったです。再生不良貧血症と診断されました。4千度近い熱で目をやられた人、内蔵まで焼かれて内臓疾患の病名がついた人、佐々木貞子さんのように突然白血病になる人もたくさんいました。生き残った人は放射能の後遺症で、今でも多くの人が苦しんでいます。

核廃絶の訴えを

現在、地球上には約1万7千発の核弾頭があります。これをどうしたら地球上からなくなることができるか、一人ひとりの知恵を貸していただきたい。ただ戦争体験のない人が増えているから、広島や長崎のことに興味も関心もない人がたくさんおられることは事実です。食べ物のない苦しみは今の人にはわからないでしょう。原爆被爆者はもう年を取りすぎました。私たちが訴え続けても、もうあまり時間がありません。みなさんにこの意思を引き継いでほしいと願っています。

核保有国を訪れて

私は核保有国を何度か訪れましたが、インドでは人が路上生活をしているすぐ横を戦車が走っていました。そんな中を、飢えた子どもたちがごみの中に頭を突っ込んで食べ物を探していました。また、エイズにかかって死を待つだけの子どももたくさんいました。国民がこんな過酷な状況で生活している中、ミサイルを作っています。ミサイルを1基作るのに、日本円で3億から4億円のお金がかかるそうです。

そんな危険なところで生活している子どもたちに夢や希望を聞いたところ、「学校に行ってみよう」「家族と一緒に食事がしたい」という答えが返ってきました。これらは日本人たちにとっては普通のことです。この当たり前が平和なのです。

平和な日本

平和は特別なことではありません。家族と一緒に食事をして、笑ったり泣いたり、時にはきょうだいげんかもするだるうけど、それも平和だからできるのです。

世界で唯一の被爆国である日本の子どもだからこそ、世界に向かって平和の大切さを伝えていくべきです。今、日本の中でも様々な国の人が暮らしておられますので、そういう違う国の人とも仲良くしてください。そうしないと世界の平和は言葉だけの平和で終わってしまいます。

命を粗末にしないで

今の子どもたちは「死」ということが本当にわかっていないと思います。私にも孫が4人いますが、テレビゲームを見たときにシヨックを受けました。「お前死ね」「殺す」などという言葉があふれていて、敵が死ぬと喜ぶ。冗談でも、「死ね」や「殺す」という言葉は使ってははいけません。これだけ何不自由な日本で、家族で殺し合いをし



▲平和の鐘を鳴らそう



▲武庫・弥生小学校の児童による平和の歌



▲被爆ピアノコンサート

たり、誰でもいいから殺したかったと関係のない人を殺すということが絶えませんが、なぜ命を無駄にするのか、私には理解できません。絶対に命を粗末にしないでください。命というのは、ゲームのように元に戻らないのだから、これだけはわかってください。戦争中にひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんのことからかなくなっていたら、今のみなさんはここにこうして元気に来ることができないのが命なんです。ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんがつないでくれた命。これからはずっと大切にしてくださいようにみなさんお願いします。

ひょうご・ヒューマンフェスティバル 2014 in かい

日時＝8月23日(土)10時～15時40分

場所＝加西市民会館

(加西市北条町古坂 1-1)

入場無料

アクセス＝北条鉄道「北条町」駅から徒歩10分、中国自動車道加西ICから車で5分

プログラム

◆人権講演会／弁護士 菊池幸夫さん

◆こころあったかステージ

◆それいけ！アンパンマンショー

◆ヒューマンシネマ

「千の風になつて」ほか

上記以外にも、パネル展、ふれあいステージ、販売コーナーもあります。

問い合わせ＝(公財)兵庫県人権啓発協会
(078-242-5355)

人権に関する総合相談窓口…月～金曜(祝日除く)9時～17時(559-5062 FAX 559-5063)

女性のための相談…問い合わせは、まちづくり協働センター男女共同参画担当(563-8000 FAX 563-8001)